

## 2024年6月2日（日）第二礼拝「宣教の完成と祈り」マタイ 28章 18-20節

宣教とはイエス・キリストが救い主であることを伝えることです。聖書全体はイエス様について書かれていますが、御言葉を握って祈る時、聖霊様が働いて宣教することができます。また、宣教はイエス様が昇天される前に弟子たちに命令したことです。

第一番目、宣教と祈りです。「わたしには天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています。…あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを授け…」(本文 18 節～) これは「祈って出て行き福音を伝えなさい」ということです。福音を伝えることはイエス様を信じる人の最も重要な使命であり義務です。また、教会の存在目的です。福音宣教は神様に最も喜ばれ、栄光を返すことなのです。また、神様の御心である十字架が天において成就されたように、御心が地にもなるように祈ることが大切です。その時、聖霊が力を与えてくださり、私たちはエルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまでイエス様の証人となります。宣教は私たちの力のできるものではなく、天と地のいっさいの権威を持たれているイエス様の御名の権威によって行うのです。また、とりなしの祈りが必要です。ヨシュアが戦い、モーセとアロンとフルが祈ったように、伝道と祈りの連携プレーが大切です。あらゆる人々に福音を伝えられるように、とりなしの祈りを受けつつ、自分が置かれた場所で伝道しましょう。

第二番目、伝道の目的は魂の救い、永遠の救いです。イエス様を信じる者は罪赦され、永遠のいのちが与えられ、神の国の民となります。私たちは永遠の存在となるのです。永遠は時間枠を越え、過去現在未来を支配します。二千年前の十字架であっても、信仰によって今その恵みを頂き、私たちはイエス様の血潮によって罪赦され、永遠のいのちを与えられるのです。また、将来イエス様が再臨されることも、今信仰によって永遠のものとして受けとることができるのです。私たちはイエス様と共に十字架で死に、葬られ、よみがえり、天のところに座らせてくださいました。「…上にあるものを求めなさい。…地上のものを思わず、天にあるものを思いなさい。」(コロサイ 3:1～) 神様のうちに私たちのいのちが隠されてある、つまりイエス様の中に私たちはあるのです。ですから、「地上のからだの諸部分、すなわち不品行、汚れ、情欲、悪い欲、むさぼりを殺してしまいなさい」と言われるのです。

第三番目、宣教の完成はユダヤ人の救いです。「わたしはあなたがたを諸国の民の間から連れ出し、すべての国々から集め、あなたがたの地に連れて行く。」(エゼキエル 36:24) これは、世界に離散したユダヤ人をイスラエルに連れて行くというアリアの約束です。これが救いの始まりです。彼らはイエス様の血潮(きよい水)ですべての汚れからきよめられ、新しい心と新しい霊(聖霊)が与えられます。自分を王とする傲慢な心(石の心)が取り除かれ、謙遜な心(肉の心)に変えられ、主のおきてと定めを守り行う者と変えられるのです。救われたユダヤ人たちが「バルハバ・ベッシム・アドナイ(主の御名によって来られる方に祝福あれ)」と言う時、イエス様は再臨されます。これが宣教の完成です。アーメン！